

血管撮影領域に関する診断参考レベルによる医療被ばく最適化の実態調査

2019年6月1日から2021年5月31日までに血管撮影のためにカテーテル検査・治療を受けた患者さん

研究協力をお願い

当科では「血管撮影領域に関する診断参考レベルによる医療被ばく最適化の実態調査」という研究を行います。この研究は、他の研究機関との共同研究として、2019年6月1日より2021年5月31日までに日本医科大学千葉北総病院放射線センターにて、血管撮影のためにカテーテル検査・治療を受けられた患者さんの医療被ばく最適化の実施状況および線量調整方法を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。本調査で用いた情報は、共同研究機関へ提供させていただきます。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：血管撮影領域に関する診断参考レベルによる医療被ばく最適化の実態調査

研究期間：倫理委員会承認日～2026年5月31日

当院における研究責任者：日本医科大学千葉北総病院 放射線センター 小檜山 奈津留

(2) 研究の意義、目的について

研究意義は血管撮影手技に沿った適切な線量調整プロトコルを構築することです。血管撮影領域のDRL（診断参考レベル）を基に各施設の医療被ばく最適化の実施状況および線量調整方法を調査することにより放射線防護の最適化プロセスを明らかにすることを目的とします。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類および外部機関への提供について）

2019年6月1日より2021年5月31日までに日本医科大学千葉北総病院放射線センターにてカテーテル検査・治療を受けられた患者さんについて、以下の試料・情報を収集、使用します。

試料：なし

情報：被ばく線量（透視時間・照射基準点線量、面積線量、撮影線量）

これらの試料・情報は、共同研究機関である循環器画像技術研究会に提供されます。これらの試料・情報は、匿名化した上で被ばく線量に関するデータをExcelシートに記入し、研究責任者に送付します。ラボ施設にてパスワード設定したファイルに記録し、鍵がかかる保管庫で管理します。各研究機関から収集された試料・情報を用いて、研究グループがプロトコル別透視/撮影線量測定データや診断/治療手技別線量データの基本統計量を解析し、被ばく防護の最適化につながる透視および撮影条件についての検討を行います。

(4) 共同研究機関（試料・情報を利用する者の範囲および試料・情報の管理について責任を有する者）

研究代表機関：循環器画像技術研究会

研究全体の責任者：千葉救急医療センター 放射線科 長谷川 亮太

その他の共同研究機関：順天堂大学、埼玉県立循環器・呼吸器病センター、東京大学医学部附属病院、榊原記念病院、昭和大学横浜市北部病院

(5) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(6) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌の公表を予定しています。

(7) 研究代表者・当院における問い合わせ等の連絡先

千葉県救急医療センター 放射線科 長谷川 亮太

〒261-0012 千葉県千葉市美浜区磯辺 3-21-1

電話番号：043-279-2211 (代表)

メールアドレス：citec.dr1s2020@gmail.com

日本医科大学千葉北総病院 放射線センター 小檜山 奈津留

〒270-1694 千葉県印西市鎌苅 1715

電話番号：03-3822-2131 (代表) 内線：5600

メールアドレス：nms_hokusohrinri.group@nms.ac.jp